

フジコ・ヘミングのコンサートに行ってきたよ



5月になって、学校でも新しいお友達や教室に慣れてきたころかな？
 さて、先生は今月、フジコヘミングさんというピアニストのコンサートに行ってきました。フジコは父親がスウェーデン人のハーフ。才能があったが若いころ耳の病気になる、一度はピアニストの道を断念。聴力が回復した1999年に、テレビのドキュメンタリー番組に取り上げられ、「奇跡のピアニスト」として有名になった人です。

コンサートでは、着物のような洋服のような独特の衣装で登場。ショパンやドビュッシーの名曲を、とても柔らかい響きで聴かせてくれました。なんといっても、リストの「ラ・カンパネラ」は最高で、フジコ自身がとても楽しそうに弾いているようでした。驚きだったのはアンコールで弾いたバッハの「主よ、人の望みの喜びよ」です。普通なら、淡々と演奏するカンタータを、あそこまでドラマチックに演奏できるとは！曲の表現の仕方は無限。音楽は自由なんだな、ってあらためて勉強になりました！

お知らせコーナー

【続ける、ということ】

お昼のTV番組「笑っていいとも！」が32年間の歴史に幕を下ろしました。最後はいろいろな有名タレントが勢ぞろいする感動のファイナルで、長くやってきたことの素晴らしさを感じました。継続は力なり。(強引にピアノの話に持っていきますが...)ピアノはとても根気のいる習い事です。なかなか上手にならない日が続く、正直、いやになる時があります。でも、毎日ほんのちよっどもいいからピアノに向かい、先生のアドバイスを信じて頑張ってみてね！きっと上手に弾けるようになるよ。



ピアノのお話

【ソナチネってなに?】



ピアノレッスンでは、クラシック曲が弾けるようになることが一つの目標でもあります。練習を積んで、ソナチネを弾けるようになると、ピアノの楽しさがグンとアップします。ところで、「ソナチネ」ってなんででしょうか？ソナチネとは曲のジャンルのこと、曲名ではありません。歌のない組曲をバイオリンやピアノで演奏する「ソナタ」というジャンルがありますが、そのソナタを小さくしたものを「ソナチネ」といいます。15~30分程ある、三部形式のピアノソナタに対し、短くて簡単な構造となっています。頑張って練習して、ソナチネをカッコよく弾けるようになるうね！